



幅広い市民が気軽に立ち寄れる図書館をめざして

宮崎県 えびの市民図書館

基本データ

所在地	宮崎県えびの市 大字大明司 2146-2
職員数	10人
うち司書数	4人
蔵書数	144,896冊
利用登録者数	13,656人
年間貸出冊数	57,573冊
(児童用図書貸出数 22,752冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】居場所としての機能充実、子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 図書館のもつ資料を最大限に活用するとともに、市民参画による図書館運営により、憩いの場として市民が気軽に来館でき、読書に親しむことができる図書館づくりに努める。

取組・活動の概要

(1) えびタンバック

- 0歳から4歳までの年齢別に異なる絵本が5冊入ったバックを、3バックずつ常時準備している。
- 借りてからのお楽しみといったしかけとなっており、何を読んであげればよいか分からない保護者にとっても大好評である。

(2) キッズスマイルタイム

- 図書館の中で、土曜日、日曜日、祝日を少々騒いでもよい日として設定。子ども連れの家族も気軽に利用できるようにしている。



土日の声が出せる環境での子ども参加型読み聞かせ

(3) 夏休み「ほんの手帳」

- 小学生が夏休みにどんな本を読んだか記録と記憶に残る楽しい手帳を配布している。内容は、カレンダーやおすすめの本、塗り絵、紙相撲な

どのおまけもついていて、子どもたちに大好評の手帳となっている。

(4) 図書館を使った調べる学習コンクール

- 公益財団法人図書館振興財団が主催する「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを年1回開催し、学校から個性豊かな作品が寄せられている。地域・図書館の活性化、地域への関心、郷土愛の醸成、学校教育、生涯学習での図書館の活用に繋がっている。



調べる学習コンクール授賞式

(5) 福祉関連事業

- 月に1回、「喫茶ふら〜っと」を市保健センターと共同で開催。障がいのある方による1杯20円のコーヒー販売、福祉作業所の野菜、えびの支援センタービーだまの手作り作品などを販売し、市民の憩いの場として定着している。



喫茶ふら〜っと

(6) がんギフトコーナー

- 館内に「がん情報ギフトコーナー」を常設し、国立がん対策情報センターからの寄贈資料を展示している。通院するための公共交通機関が限られている地域の実情に応じた医療関連資料の拡充に努めている。

(7) テンダーコーナー

- 「TENDER (テンダー)」とは、えびの市民図書館の職員が考案した造語で、点字本、デイジー、大活字本などの頭文字をとったもの。常時テンダーコーナーを設置し、読書のバリアフリー化を目指している。

(8) 複製絵画貸出

- 当館は114点の複製絵画を所蔵しており、利用者の皆様に1ヶ月2点の貸出を行っている。学校や郵便局などの利用が多く、個人の貸出もできるようになっている。

(9) 雑誌スポンサー

- 「雑誌スポンサー制度」は、図書館が所蔵する雑誌の購入資金を負担いただくスポンサー（広告主）になっていただき、その雑誌の最新号カバー等にスポンサー名や広告を掲載していただける制度。これによってスポンサーになっていただいた事業主に情報発信とPRの場を提供し、あわせて図書館経費の効率的な運用と図書館サービス向上を図っている。

(10) 漫画の貸出

- 市民から寄贈された900冊以上の漫画の特設コーナーを設置した。



コミックコーナー

取組・活動の工夫や特徴

- 幼稚園・保育園・小・中学校、高等学校との連携を行っている。
- 雑誌スポンサー制度・各企画展など、地域の企業や市民の参画による図書館運営を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 少子高齢化社会・本離れなどの影響により年々来館者・貸出等も減少していたが、様々な取組・活動等の結果、来館者が前年比約10%UPしている。
- 今後は老若男女問わず図書館が憩いの場となるよう、図書館自体が時代に合わせて変化していかなければならない。